ASSOCIAÇÃO CENTRAL NIPO-BRASILEIRA NOTÍCIAS E INFORMAÇÕES

ブラジル特報



No. 1654 2020年1月号

特集アマゾンとアグロフォレストリー

・アグロフォレストリー再考

南バイーアのカカオ栽培 ・躍進期・停滞期そしてアグロフォレストリー



あの町この町 ナタール Natal



新規会員募集中! 詳しくは P21 をご覧ください。



世界の未来を、ブラジルとつくる。

[Business innovation-1]

鉄道と港湾を一体化させ、物流を効率化。

鉄道網と港湾ターミナルの複合一貫サービスを提供するVLI社に出資参画。 たとえばサントス北西のティプラム港で、取扱貨物を次々と拡大。

[Business innovation-2]

貨車リースで、全土に広がる陸上輸送モデルを確立。 MRCLA社を通じてリース事業を展開。貨車6,000両以上、機関車20両以上で国じゅうを 縦横につなぎ、穀物・肥料・鉄鋼製品・燃料などを運搬。物流の安定化に貢献。

[Business innovation-3]

現場のニーズに細やかに応える農薬事業で、農業の発展を。

オウロフィーノ社に出資参画。大規模な農地が多いブラジルで、 気候条件に適した農薬製剤を開発。作物の順調な生育を農薬で支え、 増産や品質向上に貢献。

世界の未来を、世界とつくる。三井物産





MITSUI & CO.

ナタール [岸和田仁] …………………… 3 森林火災とアマゾン [串田圭司] ………… 5 【特集】アマゾンとアグロフォレストリー アグロフォレストリー再考 [山田祐彰] ………… 6 【特集】アマゾンとアグロフォレストリー 南バイーアのカカオ栽培 躍進期・停滞期そしてアグロフォレストリー 自ら歌にした大地を訪れて… 改めて感じた「日本人移民の底力」[小川善久] … 10 タバコをやめたい人は是非ブラジルへ!! [原田 裕]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ブラジル現地報告 ボルソナーロ政権1年目の軌跡 [高橋亮太] 12 連載・日系企業シリーズ第62回 川崎汽船のブラジル事業 [金子隆義] …………… 13 **連載・ビジネス法務の肝** ベンチャー投資家に聞くスタートアップ投資の実務 連載・税務の勘どころ RECOF(工業関連自動関税制度)の改正 一年の実務を終えて [照屋エイジ] ······ 16 ブラジルの子育て環境 [伊藤智晴] ····· 17 最高の眺めを写真に リオのカーニバル [浅原敬一郎] ---------------------------------17 演技派女優フェルナンダ・モンテネグロ ~ベストセラー回想録を読む [岸和田仁] ······· 18 最近のブラジル政治経済事情 ····· 19 キャンパス・コラム ブラジルとフェミニズム [青木優希子] ………… 19 新刊書紹介 20 連載・ブラジルあれこれ アサイーの日 (9月16日) 20 協会からのお知らせ ………………… 21 写真=永武ひかる 「表紙のひとこと」 「アマゾン川最大の支流マデイラ川。大型

コンテナ船が航行し、金採掘の屋根舟も 浮かぶ。川辺では洗濯をする女性、水浴 びをする子供、手漕ぎ舟で漁をする人も。 村人を乗せた一艘のボートが、朝日に輝 く川面を進んで行った。」

(永武ひかる:ブラジル撮影約30年、著作に写 真絵本「世界のともだち3ブラジル」(偕成社) 等。www.hikarunagatake.com

ナタール Natal

ブラジル北東部の最北部に位置するリオグランデ・ ド・ノルチ州の州都がナタールである。創設されたの が 1599 年 12 月 25 日であったことから、ナタール (ポ ルトガル語でクリスマス) と名付けられたのだ。

その軍事地理的優位性に着目した米国は、第二次大 戦中の1942年、米軍基地をナタールに設立し、1万 人もの米軍関係者が駐留することになった。そんなナ タールを自著のなかで "noiva do sol" (太陽のフィア ンセ)と称したのが、"ブラジルの柳田国男"こと民俗 学者カマラ・カスクード (1898-1986) であった。

当時首都であったリ オの国立大学 (現リオ 連邦大学) の医学部か オグランデ・ド・ノル チ連邦大学法学部教授



(専門:国際法)となったが、社会科学人文科学系であ れ理系文献であれ、外国語文献(英語、フランス語、 ラテン語、古典ギリシャ語など) も自在に読み込んで 得た博物学的知識を基に民俗学研究に注力し、その著 作数は100冊以上だ。海外の有名大学(パリ大学やら サンパウロ大学やら) から教授招聘の話がきても、「こ の地ナタールを離れたくない」からと全て断り、自ら を「救いがたい田舎者」と称し、地元民俗文化研究に 一生を捧げた異才にして鬼才であった。

この中堅都市(現人口は約90万人)の旧市街リベイ ラ地区を散策すると、そのカスクード教授のレガシー をあちこちで実感することになる。彼の蔵書1万冊を おさめた記念館「カマラ・カスクード・メモリアル」 や彼の旧宅を訪ねて、学芸員と会話を交わせば、今で も彼が地元住民に尊敬されていることが素直に了解で



霊"を感じた気 分になれるから

もっとも普通 の観光客にとっ

て、ナタールとは美しい海岸が広がるリゾート観光地 であり、その白い砂浜を四輪駆動車で縦横にドライブ

できる町であり、様々なグルメを楽 しめる町だ。エビやイセエビなどの 海鮮料理もいいが、カルネ・デ・ソ ル (牛肉一日干し) にマンテイガ・ダ・ テーハ (液体バター) をぶっかけて かぶりつくのも楽しい。これもナター ルの魅力である。なにしろ、この地 の出身者はポチグアーと呼ばれるが、 先住民ツピー語で「エビを食う人」 の意味なのだから、昔からエビを食っ ていたワケだ。



岸和田仁(『ブラジル特報』編集人)

グローバル人材の採用なら

日経HRは、日本経済新聞グループの人材情報企業として、新卒向け就職事業、社会人向け 転職事業、キャリア教育事業をメインに展開しています。

日経HR独自の情報に加え、日本経済新聞社や日経BP社のコンテンツをベースに就職活動、学び、スキルアップ、キャリアデザイン、転職などのHR(Human Resources)情報をインターネットや出版、イベントなどのクロスメディア展開により発信していきます。

日経アジアリクルーティングフォーラム

2013年8月に第1回フォーラムを開催。毎年、アジア主要国のトップクラス大学で学ぶ現地学生の日本企業就職を支援。各国での企業説明会や、日本で学ぶ外国人留学生のための就職支援など、グローバル人材を求める日本企業のニーズにお応えしています。





日経キャリアNET

社会人のための転職サイト。日本経済新聞や日経・電子版、日経BP 社の各種専門媒体を入り口としたビジネスに意欲の高い求職者と、 人材を企業戦略の中核と意識する優良企業を結びつけます。





キャリアコンサルティング(人材紹介)

エグゼクティブ、金融、IT系人材を中心に、人と企業をピンポイントで結ぶ人材紹介事業を展開しています。日経キャリアNETや日経グループ各媒体との連動やアライアンス・エージェントとの連携など、さまざまなご提案も行っています。





日経メディアで複合プロモーション

日経新聞・日経電子版、日経BP専門媒体(雑誌・Web・メルマガ・フォーラム)を活用した日経メディアの複合プロモーションで人材採用活動をお手伝いします。







仕事の先の幸せを創造する会社



× • • • •



ブラジル・ナウ

森林火災とアマゾン

2019年8月、アマゾンの森林火災が大きな話題となった。同年1月に就任したブラジルのボルソナーロ大統領の開発を優先する政策が森林火災を拡大したと言われている。アマゾンの違法な開発や違法な伐採に伴い火を放つことが増えた。ブラジル国立宇宙研究所の見積もりによると、1月から8月の森林火災面積の合計は過去9年間で最大となった。今年は九州と同程度の面積の土地の火災が日本の国土面積の20倍ほどのアマゾン盆地で起きている。フランスのマクロン大統領は、地球温暖化の観点からアマゾンの森林火災は国際的危機」であり、主要7カ国首脳会議(G7サミット)の最重要課題にすべきとした。ボルソナーロ大統領は消火活動に軍を派遣し、60日間の野焼きを全土で禁じる大統領令を施行し、火災の沈静化をはかった。拡大した森林火災を人為的に消火することは難しい。アマゾン盆地の火災は雨期の始まりの雨によって沈静化した。

ここでいくつかの疑問点が生じる。一つ目は「アマゾンの森林火災は地球温暖化を進めるか?」である。森林火災は燃焼時に二酸化炭素を放出する。しかし、森林が元通り回復すると、燃焼時に放出した二酸化炭素はそのまま同じ土地に回収されることになる。つまり、森林が元通り回復するような状況では、森林火災は地球温暖化を進めない。現状はどうであろうか? 火災が起きた土地が牧草地や農地として利用される場合には、答えは Yes(地球温暖化を進める)である。森林の回復が進む場合には、世界の他の森林と同様に、元通り回復する前に次の火災を受けるかどうかによる。過去の火災の頻度に比べて現在の火災の頻度が大きいかどうかである。

二つ目の疑問は「違法な開発が火災の原因か?」である。森林火災の要因としては、発火の要因と延焼の要因を分けて考えなければならない。発火の要因としては、違法な開発に伴う放火、強酸性土壌の改良のための火入れ、火の不始末など人為的なもの、落雷や木の摩擦など自然条件によるものがある。延焼の要因としては、ほとんどが乾燥、高温、強風など自然条件によるものである。発火要因が大きくても、延焼の要因がなければ火災は大規模なものにはならない。実際にアマゾンでは2005年や2010年の乾燥年には、今年よりも大規模な火災が広がった。今年はこのような乾燥年ではなかったことから、答えはYes(違法な開発が火災の原因である)である。ただし、乾燥年に違法な開発に伴う発火の増加が重なると、今年よりも大きな火災が予想される。地球温暖化の進行は極端な乾燥や極端な大

雨を増やすことから、今後自然条件による延焼の増大が予想される。

このように考えると、アマゾンの違法な開発に伴う発火 や森林火災は直接に地球温暖化や「国際的危機」と結びつ く訳ではない。乾燥度や森林の回復といった要因との兼ね 合いで地球温暖化への影響が異なってくる。森林火災を減 らさなければならないが、様々な要因を考えて対策を講じ なければならない。これは化石燃料の燃焼が直接に地球温 暖化に結びつくのと対照的である。しかしながら、アマゾ ンほどの大森林になると、森林火災がある限界を超えるこ とが、森林回復の可能性を極度に低めることが考えられる。 2005年にはアマゾン盆地では3%程の森林が火災を受け た。将来、違法な開発に伴う火災と極端な乾期の乾燥が重 なると、これを超える大火災が考えられる。火災跡地で、 雨期の大雨により養分を含む土壌の流亡が起こると、森林 回復が難しくなる。森林が減少することで土壌の水分保持 量が減ると、表面流出が増えてさらなる土壌流亡を引き起 こす可能性がある。大規模な土壌流亡は牧草地や農地とし ての利用可能性をも失う。11 月現在燃え続けるブラジル 中西部の湿地帯パンタナールの火災のような泥炭火災は、 数百年から数千年に渡って植物が二酸化炭素を吸収して蓄 積した泥炭を燃やしてしまう。泥炭湿地は水分量が多く有 機物分解が遅いため、森林より大きな有機物を泥炭として 蓄積している。大規模な泥炭火災が起きると、貴重な炭素 の貯蔵庫としての泥炭湿地の回復はほぼ不可能になる。

森林を伐採し、牧草地や農地といった土地利用に転換することは、化石燃焼の燃焼と同様に、直接に地球温暖化に結びつく。アマゾン盆地ではこのような土地利用転換により、過去 10 年では年平均 0.2% ~ 0.8% の森林が失われている。森林火災跡地の一部で土地利用転換が起きていることを考えると、森林火災が土地利用転換を促進していると言える。

森林を維持し続けるより、森林火災や森林皆伐の後に牧草地や農地として利用することが、経済的な利益を生み出すということである。地球温暖化が自然災害の増加や環境の悪化を通じて、国際的に大きな経済的な不利益を生み出すことを考えると、何とかして森林を維持し火災を抑制しつつ、経済的な利益を生み出すシステムを構築しなければならない。本号のアグロフォーレストリーの大いなる可能性にご期待申し上げる。

串田圭司(日本大学生物資源科学部教授)

アグロフォレストリーとは

アグロフォレストリー (Agroforestry) は、農業 (Agriculture) と林業 (Forestry) の合成語で、「農林複合経営」などと訳 される。「森を作る農業」として、食料・ 木材生産と環境保全の問題を同時に解決 する農法であると主張する者もいる。国 際農業研究協議グループ(CGIAR)傘 下で、1978年に設立された国際アグロ フォレストリーセンター (ICRAF) を中 心に研究開発が進められてきた。その起 源は人類が農耕を始めて以来の「焼き畑」 すなわち「火田(かでん)=畑= roca」 であり、開墾し数年耕作した後の休閑(二 次遷移) に替えて植林すると「木場作(こ ばさく) | と称される。19世紀後半か ら英領ビルマでチーク造林に用いられた 「タウンヤ法」が世界的に知られる。こ のように、作物と樹木を同一の農地で計 画的に栽培する中で、動物を飼う(畜産、 養魚、養蜂等)こともある。

ここで言う「作物」は、穀物、野菜、 根菜、工芸作物、薬用作物等の一・多年 生草本植物に加え、果実や香辛料、嗜好 飲料を生産する蔓性や低木等の木本植物 を含む。「樹木」は各国で要件を定める が、ブラジルでは樹高6m以上の中高木 の他、竹類が含まれる。作物と樹木の少 なくも2種類以上が複合栽培されるた め、それらの間に「経済的・生態的な相 互作用」が起こる。例えば、低木(3~ 5m) 仕立てのカカオに与える肥料の一 部は、被陰のため混植した高木で用材樹 種のマホガニーに吸収され、その生長を 促す。被陰樹の植栽密度が高過ぎると樹 下のカカオ園は暗くなり、乾季には被陰 樹との水分競合も起こって、実らぬばか りか枯死することすらある。また、同一 圃場で異種作物の作業が重なると、つい

: り、反対にどちらも中途半端になったり : トリーの展開と、将来展望について書く と、単一作よりも複雑な農場運営となる。 ブラジルの日系農業者がこうした技術的 課題を克服して来られたのは、日本古来 の伝統である繊細な生物観察と、コミュ ニティーの情報共有に基づく粘り強い試 ... : 行錯誤に負うところが大きい。

開墾地にはまず、陸稲、キャッサバ、

トウモロコシ、カボチャ、インゲンマメ

等が植えられる。収穫後、焼き畑移動耕 作では次の開墾まで数十年の休閑に入 り、二次遷移が進行する。この過程を市 場性ある有用植物の混植リレー栽培に置 き換えた「遷移型」アグロフォレストリー では、一年生→多年生→低木+中高木と 畑作物の主体が移り変わり、外観が森の ように見えてくる。そこで、生産現場に ほど遠い一部の識者から、日系農家は「森 林再生や環境共生を目的にアグロフォレ ストリーを行っている」との飛躍した解 説も飛び出した。農業者にとっては、投 資(土地、労働力、資材)が、いかに短 中長期の安定収入に結びつくかが最大の 関心事である。農業経営上の合理性に裏 付けられ、現地の自然及び社会環境に適 応した生産様式としてアグロフォレスト リーが選ばれたのである。その結果、バ イオマス蓄積、緑の回廊、涼しい労働環 境といった、副次的な環境面の寄与が可 視化された。農家が危険な開墾作業を通 して作り出した圃場を天然林に戻すため アグロフォレストリーを行うなど考え難 く、また、一見森のような「アグロフォ レスト」は天然林よりはるかに構成種が 少ない農業生態系である。

日系アグロフォレストリー

前置きが長くなったが、ブラジルのア でに行うことにより双方効率的に進んだ マゾンを中心とする日系アグロフォレス

ようにとのご指示である。有難い機会な ので、小生が 1990 年代中葉にブラジ ルに滞在し調査した経緯から述べたい。 1989年から3年間、NGO活動推進セ ンター(JANIC)で適正技術プログラ ムを担当し、東南アジアで土壌改良用木 炭普及に携わる中で、持続型熱帯農業へ の理解を深めたいと考えた。米国人同僚 の勧めでフロリダ大学(UF)博士課程 に入学し論文研究課題を探していたとこ ろ、平和部隊でパラグアイ日系農家の 世話になったという同窓(現 UF 教授) に、トメアスーのアグロフォレストリー について書かれた 1990 年刊行の書籍 を紹介された。1980年代中葉、現地に 2年間滞在したペンシルバニア州立大学 (PSU) 大学院生の論文で、彼は私の指 導教員の友人の下で学んでいた。後日、
 彼らに面会して助言を求めた際、1970 年代には既にオランダ人も現地で研究し



▲作付け1年日:コショウの間に音つ陸稲。 籾は食料



ンフルーツの間に、カカオと被陰樹マホガニーが育っ

態系研究プログラムディレクターを務 めた指導教員が私に投げかけた三つの 問いは、1) なぜ日系コミュニティーが アマゾン奥地にあるのか、2) 彼らのア グロフォレストリーは日本の伝統農法 に基づくものか、3) 環境に優しい農法 とのことだが、不安定な経済情勢下でど のように経営され、地域に普及する見通 しはあるのか、であった。1970年代か ら数千 ha 規模の牧場造成で進行するア マゾンの森林破壊に直面し、より持続的 な地域農業開発の手法が模索されてい た。熱帯林から転換した数十haのアグ ロフォレストで高い農業生産性を示す日 系農業者に、天然資源管理者 (steward) として期待が寄せられた。1980年代 に入り米国 NGO が、アマゾン森林の steward とされた先住民の自立支援 (empowerment) を目的に彼らの森林 採取物を輸出する際、トメアス一総合農 協(CAMTA)の農産物を加えて供給の安 定を図ったことで、日系農業者によるア

当初、指導教員からの問いかけに対し て、中学3年の時に見たフジテレビ開 局記念ドラマ「アマゾンの歌」(1979) の、陸稲とコショウの畑のおぼろげな印 象のみが手掛かりであった。彼が用意し てくれた航空券を手に、1993年夏に初 めて現地を2か月訪問し、ハイパーイン フレーション下で日系アグロフォレスト リーの予想以上の展開に強い印象を受け た。大変な研究課題になるものと想像さ れ、通常1年間の現地調査期間を2倍に して、1994年12月~1997年1月ま で、アマゾンを主にブラジルに滞在する こととなった。

マゾン原産果樹の栽培化が推進された。

まず問1)について、日本近代化の原資 は米国を主市場とする労働力と蚕糸の輸 出(東京農工大は後者に寄与)に依存した が、米国の移民制限と英国のゴム種子密 輸が日本人のアマゾン移住に帰結し、彼 らは想像を絶する数多の苦難を克服して 「アマゾンに農業を確立した」とブラジ ルで認められるに至ったことを学んだ。

聞き取りを行い、ア グロフォレストリー のパイオニアに山形 県人が多いことから 上杉鷹山の影響では ないかとか、農家や 研究者に滑稽な仮説 を披露し苦笑されて

スー十字路のカラオケで CAMTA 専務 から「だってもったいないでしょう」と 言われて目からうろこが落ちた。「コショ ウが20年生きると思ったら5年で枯れ てしまい、植穴には肥料がたっぷり残っ ている。一方、病害で全滅というけれど も実際はところどころ生きていて、その 畑を手入れするのに欠株で空いた面積と 除草の手間賃がもったいない。」とのこと であった。当初コショウが枯れた植穴に、 様々な植物の補植を試みたら何でも良く 育ったので、コショウの寿命を織り込み つつ投資を有効活用する後作リレー栽培 に、徐々に移行していった。このように、 日本人特有の「もったいない精神」が契 機となり、後作のカカオなど半日陰を好 むアマゾン原産植物の特性が、「森のよ うに見える畑」の出現に結びついたので ある。余談だが、前出の米国人研究者は、 不安定なブラジル経済と社会情勢下に あって、長年にわたるアグロフォレスト リーを行う一世の老移民に、「あなたの 宗教は何ですか」と尋ねたそうである。 問3)については、毎週末1年間ト

メアスーの日系農家で聞き取り調査を: 行い、代表的な 10 種類の栽培体系を含 む28 圃場で収支比較した。その結果、 アグロフォレストリーと牧場経営では、 農地一筆(25ha)と牧場一単位(1千 ha)で年収が均衡していた。つまり、 アマゾン森林 25ha を「森のような」ア グロフォレストに置換した日系人の定着 農業と、同じく1千 ha を減価償却10 年間で草地にした牧場経営で、経済規模 が同等であった。アマゾン森林を保全し つつ農村開発を図るには前者が優れた手 法であったが、所有権の曖昧な大面積の 天然林を先占取得するには、後者が経済 問2) については、諸々の文献を読み :: 的な選択肢であった。今世紀に入るまで、 :: ろうと考える。



日系農業者が入植地内の水源涵養林を維 持しつつ各自数筆の開拓に注力する間、 ブラジル南部から来た牧場主が入植地外 周の森林はもとより、上記の保全林まで 皆伐し私有草地化してしまった。一方、 トメアスーの2百戸の日系農家に隣接す る5千戸の非日系小農は、日系農場での 雇用を通じてアグロフォレストリーを習 得し、各自数~数十 ha の農地で模倣し ていた。ブラジルの経済混乱に伴う治安 悪化を受けて、若手の日系農業者有志は 小農に積極的な技術普及を行うようにな り、その生産物を CAMTA ジュースエ 場で受け付けると共に、経営の確立した

2年余のブラジル滞在の後、フロリ ダに戻って2年余で博士論文をまとめ、 1999年に帰国した。その1年後にブ ラジルと縁の深い東京農工大に職を得、 2008年の日本人移住百周年記念事業を 経て、今日までブラジルの大学やアマ ゾンの日系農業者にお付き合い頂いてい る。小農向けアグロフォレストリー技術 普及パッケージ開発や、アフリカへの温 暖化対応国際技術協力などで協働してお り、今後もアマゾン日系農業者が開発実 践するユニークな農業体系は、世界の熱 帯地域へ示唆に富んだ発信を続けるであ

者を組合員に迎え入れていった。

6

南バイーアのカカオ栽培 躍進期・停滞期そしてアグロフォレストリー

カカオ起源地と栽培の広がり

言語学者(専攻:マヤ言語学・中米文化史) の八杉佳穂教授(現在国立民族学博物館名誉 教授) の著書で『チョコレートの文化誌』(世 界思想社) というチョコ愛好者には"情報の 玉手箱"のような本がある。

この最終章にはチョコが日本に伝わった経 緯が書かれており、例えば、固形のチョコ レートを最初に食べた日本人は誰か、につい ては、岩倉具視を中心とする米欧回覧使節団 が1873年1月21日にフランスでチョコレー ト工場を見学しているので彼らであろう、と か、日本で初めてチョコレートを商品とし て加工販売したのは、1877年、東京両国の 米津風月堂で、商業的にチョコレート製造 を開始したのは 1899 年森永商店 (現森永製 菓)であり、不二家(1913年)や明治製菓 (1918年) は二番手三番手だった、とか。ま た、チョコレートが一番売れる時期について はヨーロッパではクリスマスとイースターで あるのは、特にイースターエッグに型取りさ れたチョコが 19 世紀になって盛んに作られ るようになったからだ、とか、日本における バレンタインデーのチョコ贈物文化について は、その習慣が確立し始めたのは 1970 年代 以降だが、「愛の告白の日となったバレンタ インデーにチョコレートを贈るのも、チョコ レート会社の販売作戦にすぎなかったのかも しれないが、チョコレートに催淫効果がある といわれてきたことと関係深いように思われ る」とのことだ。そうなのか、サイインコー カか、面白い!

この本の帯には「"神の食物"という学名 をもつカカオ。はるか紀元前にまで遡るカカ



: 壮大な物語。」と書かれているので、同書に 従ってまず起源について復習しておこう。

カカオの原産地については、中米説や、ベ ネズエラのオリノコ川周辺説があるが、種の 種類は、コロンビアやエクアドル、アンデス のアマゾン河傾斜地が最も多いので、西アマ ゾンが起源地だろう、と推測している。八杉 教授の結論は、「中米では、カカオは、お金 や飲物、薬など、さまざまに利用された重要 なものであったが、アマゾンのインディヘナ は、その価値をまったく知らず、ただ種をく るむ甘酸っぱいパルプを吸うだけであった。 植物的な起源はアマゾンであるらしいが、栽 培起源は中米にあるといってよいだろう。」

そんなカカオが大量に中南米からヨーロッ パへ入り出したのは17世紀以降であり、カ カオの塊は、薬、お菓子、化粧品としてもて はやされるようになっていった。栽培地も世 界中に広がっていき、フランスは17世紀中 ごろにはカリブ (マルチニークやフレンチギ アナ)での栽培を開始、ブラジルのアマゾン 盆地でのカカオ栽培は17世紀に始まったが、 18世紀末で生産量は千トン程度、19世紀後 半で4千トンほどだった。アジア地域では、 スペイン人がフィリピンヘカカオ苗を導入し たのは17世紀後半で、そこからオランダ人 がインドネシアのジャワ島にカカオに持ち込 んだのが 18 世紀後半であった。また、アフ リカで 19 世紀前半に最初の本格的なカカオ 栽培が始まったのはポルトガル領のサント メ・プリンシペ島で、20世紀初頭には年間3 : 万トンも産出していた。現在カカオ生産の主 産地となっているアフリカのガーナ(英領西 : アフリカ) やコートジボアール (仏領象牙海 岸) にカカオ苗が導入されたのは19世紀中 オの起源から現代のチョコレートにいたる、: ごろだったが、カカオ農園が本格的に広まる のは 19 世紀末である。

> ちなみに、現在のカカオ産出量国別順位を みると、FAO (国連食糧農業機関) 統計 (2016 年度 単位・万トハ によわげ

ハール・カーン/にいていい	
1) コートジボアール	147
2) ガーナ	86
3) インドネシア	66
4) カメルーン	29
5) ナイジェリア	24
6) ブラジル	21

7) エクアドル	18
8) ペルー	11
9) ドミニカ共和国	8
10) コロンビア	6

となっており、1960年代から今日まで、原 産地の中南米よりもアフリカがカカオの主産 地となっていることが明らかである。

南バイーア: 18 世紀導入期から 20世紀カカオ黄金郷時代へ

カカオ栽培に必要な自然条件は高温多湿 (年間降雨量が1.500-3,000ミリ、気温は年 平均21℃以上)であるが、その条件を満た すバイーア州南部にアマゾン (パラー州) か らカカオ種子が持ち込まれてカカオ栽培が始 まったのが 1746 年であった。19 世紀後半 から栽培面積が拡大されていったが、この新 規農業については農園主にしても農園労働者 も地元バイーアでは人材不足だったため、北 隣のセルジッペ州からの移住者たちがその穴 を埋めたのであった。(例えば、文豪ジョルジ・ アマードの父親もセルジッペ出身のカカオ農 園主であった。)

時系列でざっくりと年度別のバイーアでの カカオ産出量を追いかけてみると、1845年 181 トン、1905年1.7万トン、1922年5.6 万トン、1935年12万トン、1960年12.9 万トン、1970年15.7万トン、1980年30.2 万トン、1985年36.1万トンといった推移か らわかるように、1960年代から80年代に かけて急速に生産量が増えていき、そのピー クを迎えたのが 45.8 万トンを産出した 1986

すなわち、1910年代には、ブラジルはコー ヒーばかりかカカオ生産についても世界最大 の生産国となったのであり、モノカルチャー 依存体質の当時のブラジルは、1930年から 1956年まで、カカオはコーヒーに次ぐ外貨 獲得産品(輸出金額ではコーヒー1位、カカ オ2位)となっていた。今から思えば、カカ オ全盛時代であったワケであり、サンパウロ のコーヒー、ノルデスチのサトウキビ、バイー アのカカオが、ブラジル農業を代表する三大 産品となっていた時代だった。

ブラジル文学におけるカカオ

作家ジョルジ・ アマード(1912~ 2001) は南バイー アを舞台とした小 説を4作書いてい る。

『カカオ』(1931 年)、『果てなき大 地』(1943年)、『イ リェウスの聖ジョ ルジ』(1944年)、 『大いなる待ち伏 せ」(1984年)、



JORGE AMADO

TERRAS DO SEM FIM

『果てなき大冊』

の4作品は、カカオ利権を巡る人々の争いを 描く社会派リアリズム文学の名作群といえる ものだが、その"母胎"となった『カカオ』(田 所清克訳、彩流社、2001年)の数行を引用 してみたい。バイーアというカカオ依存社会 をわかりやすく評している部分だからだ。

「南バイーアで、カカオは心地よく響くた だ一つの名前である。黄色く色づいたカカオ の実がなったとき、カカオ園は美しい。毎年 初めに農園主たちは地平線を眺め、天候と収 穫を予想する。そこで請負人が労働者たちを ひきつれてやって来る。カカオ園での収穫の ため一種の契約である請負人は、通常、既婚 者で妻子もちの労働者と仕事をする。請負人 たちは農園全体のカカオを収穫する義務があ り、自分たちの仕事を手伝わせるために労働 者を雇うことが出来る。独身の労働者たちは 雑役につく。彼らは日当で働き、ありとあら ゆることに従事する。カカオの実の収集、カ カオを発酵させる貯蔵庫の仕事、カカオ乾燥 台の仕事など、この種の労働者は大した数 に上がっていた。おれたちは一日の労働で 三千五百レイスかせいでいたが、良き時代に は農園主は五千レイスも払っていた。

病害による減産、低迷期へ

1980年代に入ると、カカオフィーバー に冷水をぶっかける事件が続けて起きてし



▲病害にやられたカカオの実

まう。まず生産量 でピークとなった 1986年、世界的な 生産過剰でカカオの 国際相場が急落した のだ。豊作貧乏と嘆 いていた時、今度は 旱魃が南バイーアを 襲ったのだ。さらに、 1989年から大発生

したのがフロスティー・ポッド病と呼ばれる: ニャ (実&パルミット) +ジャックフルーツ 病害(ポルトガル語では「魔女の箒」病)で カカオは葉も実も褐色化・奇形化してしまい 生産量は急減した。こうした"三重苦"にや られたバイーアのカカオ農家の多くが破たん 状態に陥ってしまった。

バイーアのカカオ産出量は、1990年35.6 万トン、1995年16万トン、2000年は9.6 万トンと急減し、その後、2001 年 10.5 万ト ン、2004年13.6万トンとゆっくりと回復し てきたが、昨年2018年は12.2万トンにと どまっている。

一方、国内市場を見てみると、1994年の レアルプラン導入によってハイパーインフレ 経済に終止符が打たれ、その後の経済成長に 支えられて自動車であれ食品であれ国内市場 規模が拡大したが、チョコレート需要も増加 している。国産カカオだけでは国内需要を賄 えないため、ブラジルはカカオ輸入国に転じ てしまったが、その輸入量は半端でない。昨 年2018年の輸入量は、カカオ豆6.2万トン、 チョコレート8.5万トンとなっており、今や ブラジルはチョコレート輸入大国となってし まった。(ちなみにブラジルの2018年度力 カオ輸出量は僅か616トンで、仕向け地は日 本、フランス、オランダであった。)

品種改良とアグロフォレストリー 農法の導入

病気になりにくい品種改良、ハイブリッド 苗の植付といった様々なカカオ栽培再興の試 行錯誤が行われてきたが、1990年代より導 入されたアグロフォレストリーと有機農法の 融合方式が多くのカカオ農園で展開されてお り、現在、南バイーアでは80以上の農園が 採用している。

この有機農法の一例をあげると、2001年 に創立された CABRUCA (南バイーア有機 生産者組合) は現在40農家が加盟しており、 彼らのカカオ栽培面積を合計すると 1,500ha となっている。現在混栽している種類は、カ カオ+アサイ(実&パルミット)+ププー

+バナナ+マンゴ+ココヤシなどであり、こ の組合の加工場では、パルミット瓶詰め、ド ライフルーツのほかチョコレートも製造して : いる。ここのカカオ製品は IBD(有機認証) も取得しているため、カーギルなど大手業者 を相手に"差別化販売"を実行している由だ。

アマゾン地域における カカオ栽培の拡大

昨年2018年の州別カカオ産出量/植付面 積は、

①バイーア州…12.2 万トン /48 万 ha ②パラー州······11.6 万トン /17.4 万 ha ③エスピリトサント州···1 万トン /1.8万 ha ④ロンドニア州······4 千トン /9 千 ha ⑤アマゾナス州······1.300 トン /2 千 ha ⑥マトグロッソ州…700 トン /1 千 ha

となっており、ブラジル全体の産出量は25.5 万トンだ。これはピーク時(1986年)の5 割強であり、パラー州の増産が顕著である。 単位面積 (ha) 当りの生産性をみても、バイー アが 220 ~ 265kg/ha であるのに比し、パ ラー州は 720 ~ 730kg/ha と 3 倍近い。パ ラー州政府としては近い将来の目標生産量 24万トンという方針を出しており、パラー 州がブラジルで最大のカカオ産出州となる可 能性はきわめて高い。これもトメアス一組合 がパイオニア的にアグロフォレストリー農法 をアマゾン地域の農業関係者に啓蒙し広めて きた成果とみなしてよいだろう。



9 ◀バイーアのカカオ畑

自ら歌にした大地を訪れて… 改めて感じた「日本人移民の底力」



小川善久 (Singer: ZENKYUにして 当協会理事)

私は誰? なぜにアマゾンで歌を?

「あなたは誰?」と思ったであろう多くの方の疑問に答えるために 簡単に自己紹介をさせていただこう。1987年、当時の大阪外国語大 学・ポルトガル語学科を卒業するも、7年前までブラジルに足を踏 み入れたことはなく、現在の私の主たる仕事は、独学で始めた中国 語の法人向け研修会社である。

7年前に縁あってブラジルを訪れた際に、全く忘れてしまっていたポルトガル語の勉強も兼ねてサンパウロにホームステイをした。その際にホストファミリーとしてお世話になったのが、65年前に13歳で家族と一緒にアマゾンへ移住した垣添恵子さんだ。

ホームステイと言えば家庭でもポルトガル語にどっぷり浸かる印象だが、夕食後は毎晩、彼女の壮大で壮絶な思い出話を聞かせてい



ただくこと

そんな私 は音楽を始 め、50歳 を過ぎた今

もオリジナル曲を中心に活動を続けているのだが、これも偶然にポルトアレグレの日本人移民の方との出会いから、地元の日本祭りでステージを務めさせていただくことになって6年になる。2018年にはブラジル移住110周年の楽曲「百と十年の轍(わだち)」を、そして2019年のアマゾン移住90周年に際しては「この地に舞い降りたのは」を書き下ろし、式典で披露させていただくことになった。

後者の楽曲の制作には前述の垣添恵子さんの物語に加えて「アマゾンからの手紙(山脇朝子著)」と言う書籍の10歳の少年の体験が元になっている。

トメアスーの歴史に魅せられた日本人

この8月、人生初めてトメアスーを訪ねた。ベレンからバスで4時間半かけて陸路を移動するのだが、途中のアカラ(ここも日本人移住地)の川には橋がなく、渡し船でバイクから大型トラックまで運ぶ。緑の景色を何時間も車窓に見た後、私の目に飛び込んできたのが真っ赤な鳥居!トメアスー文化農業振興協会の事務所だ。

出迎えてくれたのは有名大学で農業を学び、日伯交流協会の研修 生としてトメアスーで過ごし、結果的にこの地に根を下ろすことに なった日本人の男性。施設内の記念館にある数々のトメアスーの歴 史文献、写真を案内していただたいが、まだ若いのに、まるで当時 生きていたかのようにリアルに詳しく説明いただき、遠い昔の移民 の歴史を振り返るどころか、まるで現在進行形。ここトメアスーの 歴史は新しい世代にも引き継がれて先を見据えているのだと実感した瞬間である。

日系人がブラジルを、農業を変える!

アグロフォレストリー (森林再生と農業を混合) については専門家の分析も数多あるので割愛するが、トメアスーの農業の歴史は、当初予定していた作物が適していなかったり、胡椒の病気、さらには世界大戦やマラリア等の熱病と、苦難を数え上げればきりがないが、胡椒の相場など運も味方につけながらも、常に日本人の知恵で改革、改善、改良を続けてきたことが間違いなく現在の発展に繋がっている。日本では当たり前の野菜もブラジルでは食べる習慣がなく、地道な努力で定着させたのも日本人移民の功績である。

緑の地獄と呼ばれた大地、私の歌詞の中でも「ただ広い空を眺めていた 濁った水も赤い大地も いつか僕のこの小さな手で 必ず変えてみせるから」とあるが、まさに先人の忍耐と努力によって切り開かれ、更にそれが後継者の工夫と熱意によって、ブラジルの農業をも変える原動力になっている。

日本人、日本企業の関心アップを!

これはアマゾンに限らず言えることだが、各地での日本人移民の努力の結晶が世代を超えてもまだ輝いているというのに、日本人のブラジルへの関心、知識については一般の社会人でもお粗末なものがある。日本のメディアの影響もあるが、「遠い、危ない、景気が悪い」などと言っているうちに欧米はもちろん、中国企業にも先を越されているのが現状だ。

また現地で日本祭りに参加して思うのが、日本からの企業の赴任者と移民の方々との交わりが希薄な気がする。もちろん企業駐在には立場も目標もあるが、移民の方々が各地で開催している「日本祭り」をもっと大事にし支援をしてもいいのではないか?これは日本政府にも声を大にして言いたいことで、韓国は自国の情勢は別にしても国をあげてブラジル社会に投資をしている。日本も外務省、経済産業省だけではなく、農林水産省、文部科学省はじめ国を挙げてブラジルとの関わりを更に深めていただきたい。

特に農業においては、トメアスーの場合、遠い昔に移住したわず か数百名の方々が裸一貫でここまで育ててきたわけで、特に農産物 に関わる大企業には、今一度ブラジルを知る努力をお願いしたい。「事 件は現場で起きている!」飛行機のエコノミークラスなら往復20万

円そこそこ、是 非、ブラジルに、 そしてアマゾン にも経営陣はも ちろん若手社員 も足を運んでい ただきたい。







原田裕(当協会監事)

禁煙できたのはブラジルのお陰!

2009 年8月にサンパウロ州で『禁煙法 (Lei Antifumo) が施行されてから10年が経過したが、その頃、3回目のブラジル勤務でサンパウロに住んでいた私は、まさにその年、浪人時代以来36年間吸っていたタバコをやめた。思えば、私がタバコをやめることができたのは、この『禁煙法』を導入した、当時のジョゼ・セーラ サンパウロ州知事のお陰であり、もしその時日本にいたら禁煙できなかっただろうと考えている。その意味からも、サンパウロ州やブラジルには深く感謝している。(尚、当初サンパウロ州法として法制化されたこの『禁煙法』は、5年後の2014年12月に連邦法としてブラジル全土で施行された。)

ブラジルの禁煙環境はハンパじゃない!

このブラジルの『禁煙法』は、禁煙先進国の欧米と比べても 遜色ないもので、公共・私営を問わず、閉鎖空間(屋根や壁な どで全面的または部分的に閉鎖されたすべての場所。壁や間仕 切り、軒先に張り出した天幕で覆われた部分も含む。)での喫 煙を禁止している。つまり、日本のようにオフィスやレストラ ン内に喫煙室を作ることは認められないわけで、規定を守らな い施設や商店に課せられる罰金も2千レアルから150万レア ルとかなり高額だ。(但し、喫煙者個人は罰金対象外。)

実を言うと、私はそれまでにも日本で何回か禁煙に挑戦した が、数ヶ月で悉く挫折していた。それが、禁煙へ大きく踏み出 すことが出来たのは、ブラジル勤務が長くなって日本との往復 が増え、飛行機の中で長時間タバコを我慢しなければならなく なったことがまず挙げられる。ニューヨーク経由の JAL 直行 便に乗っていた頃、J.F. ケネディ空港に着くやいなや、たとえ 寒風吹きすさぶ氷点下でも、他の日本人スモーカーと一緒に空 港ビル外にある喫煙コーナーに殺到し、急いでタバコを2~3 本吸ったものだった。ただ、そんな我々を冷ややかに見つめる 欧米人の目が気にはなっていた。それともう一つは、ブラジル でタバコを買ったことがある人ならご存知だと思うが、タバコ のケースに掲載されている、あの強烈と言うより、正視すら出 来ないグロテスクな警告画像(タバコが原因の癌に侵された臓 器や悲惨な病人の生々しい写真!!)。こんな写真を見ながらタ バコを吸い続けるのは至難の業だ。因みに、こういった警告画 像は欧米、アジアでもよく見られるようだが、日本では画像で の警告はなく文章のみ。そして、最後のトドメがこの『禁煙法』 だった。それまでオフィス内にあった喫煙ルームが撤去された ため、わざわざエレベーターに乗って下まで降り、さらにオフィ スから離れた中庭の喫煙場所まで出向いてタバコを吸いに行く のが本当に億劫になってしまった。時間のムダだとも思った。

日本の方がブラジルより喫煙率が高い!

日本はと言えば、喫煙が健康に及ぼす悪影響についての認識が広まったこともあり、喫煙率は年々減少しているが、禁煙対策という意味では、これまで屋内でも喫煙可能な『分煙』を基本としてきたため、WHO(世界保健機関)による評価は非常に低かった。(下記 WHO 調査資料〔2019年〕を参照。)尚、WHOが2018年に発表した統計では、2016年時点での男性喫煙率は、日本が33.7%で149カ国中70位、ブラジルが17.9%で同127位。一方、女性の場合は、日本が11.2%で同55位、ブラジルが10.1%で同60位となっている。女性の場合は日本とブラジルはほぼ拮抗しているが、男性ではブラジルの方が低いというのは、やはりこの『禁煙法』が影響していると考えられる。

世界の喫煙規制状況(WHO の調査)

● 世界の185カ国中、公衆の集まる場 (public places)**すべて(8種類)に屋内全面禁煙義務の法律があるのは62カ国

●日本は、屋内全面禁煙義務の法律に例外が多く、4 段階で下から 2 番目のグループ

禁煙場所の数 国数 代表的な国

8 種類すべて 62 カ国 英国、カナダ、ロシア、スペイン、ノルウェイ、タイ、ネバール、アルセンチン、チリ、ベルー、ブラジル 等

示圧物ババック数	二	「ななり」な画
8種類すべて	62 カ国	英国、カナダ、ロシア、スペイン、ノルウェイ、タイ、ネパール、 アルゼンチン、チリ、ベルー、 <mark>ブラジル</mark> 等
6~7種類	27 カ国	ポルトガル、ハンガリー、ウクライナ、パラグアイ、インド、北朝鮮 等
3~5種類	43 カ国	ボーランド、イスラエル、インドネシア、シンガボール 、フィリビン、 日本 等
0~2 種類	53 カ国	米国、中国、韓国、マレーシア、ドイツ、スイス、デンマーク、 スウェーデン 等

※公衆の集まる場 (public places) とは、①医療施設 ②大学以外の学校 ③大学 ④行政機関 ⑤事業所 ⑥飲食店 ①バー ◎公共交通機関 出典:『WHO report on the global tobacco enidemic 2019"

TOKYO 2020は禁煙環境整備のチャンスだが・・・

一方、世界各国で進む喫煙規制は、オリンピックなどの国 際スポーツ大会も重要な要因となっており、日本にとっては、 2020年の東京オリンピック・パラリンピックが、遅れていた喫 煙対策を改善する好機となった。このため、『TOKYO 2020』 を展望して、2018年7月に健康増進法が改正され、原則屋内 禁煙が初めて法制化された。2020年4月からは飲食店も原則 屋内禁煙となるが、「客席面積が100㎡以下」かつ「個人経営 か資本金5千万円以下」の飲食店では例外的に喫煙ができるな ど抜け道も多く、残念ながら、国際水準からはまだ劣後してい る。日本は引き続き喫煙に対して寛容であり、居酒屋などが禁 煙によって被る(と見込まれる?)売上減少への配慮も続く。 もちろん、喫煙は個人の趣味・嗜好の領域ではあるが、国際的 なトレンドは如何ともし難い。本当にタバコをやめる気がある なら、渡航の際に機内で長時間の禁煙を強いられ、着いてから も屋内等での禁煙環境が整備されているブラジルに行くこと を、経験者としては是非お薦めしたい。



ボルソナーロ政権 1年目の軌跡



高橋亮太 (在ブラジル日本大使館専門調査員)

ボルソナーロ政権発足から1年を迎えた今、同政権の軌跡を おおまかに振り返り、今後の見通しを含めた現地報告をブラジ リアからお届けしたい。

2019年は、ボルソナーロ政権にとって、内政・外交の両面 においてまさに手探りの1年であった。まず、2019年1月1 日の政権発足と同時に着手されたのが省庁再編であり、前テメ ル政権下で29あった閣僚ポスト(正副大統領除く)は22ま で削減された。これに至る経緯は、1985年の再民主化以後、 ブラジルの歴代政権が連立政権を形成するため各政党に閣僚ポ ストを分配してきたことと関連がある。つまり、ボルソナーロ 大統領が実行した省庁再編のねらいは、公務員人件費削減はも とより、連立与党への閣僚ポスト配りは汚職の温床となる「悪 しき慣習、悪しきギブアンドテイク("toma lá. dá cá")」で あるとし、これを廃することにあったのである。たとえば、旧 財務省、旧予算企画省、旧産業貿易省及び旧労働省の社会保障 部門を集約させた経済省の発足、そしてこれらを束ねる「スー パー経済大臣 | の誕生は、新政権発足を象徴する出来事であっ た。結果として、ゲデス経済大臣は多くの所掌を抱えることに なったが、2019年10月には、政府は構造改革の一丁目一番 地である「年金制度改革に関する憲法修正法案」を成立させ、 ブラジルが長年抱えてきた財政上の課題の解決に目処を付け た。2020年以降の課題としては、行政改革や税制改革といっ た難題が待ち構えている。

2019年、ボルソナーロ政権は、銃の所持及び携行に関する 規制緩和を通じ、政権の優先課題の一つとされる治安対策に取 り組んだ。具体的には、銃の所持と携行に関する規制緩和にか かる大統領令を同年5月に公布し(ただし翌月に無効化)、農村 部の全域において銃所持を認める法律を9月に成立させた。こ れらの施策は、銃社会化を促進しかねない動きに対する懸念か ら議会でも大きな反発を呼んだが、銃規制緩和の背景には、農 村地域の農地における不法侵入や作物の窃盗といった深刻な 問題があり、ボルソナーロ政権の支持基盤を構成する「銃規制 緩和議員団(Bancada da Bala)」及び「農業議員団 (Bancada Ruralista)」がこうした治安問題を解決するための立法措置を要 求したという現状がある。また、年初にモーロ法務・治安大臣 が議会提出した肝煎りの治安対策法案は難航し、目玉とされる 警察官の正当防衛に関する条項は下院で削除された。現在、上 下両院において議席数の3分の1以上を占めると言われる中道 政党(Centrão)は、政府の経済政策に関しては賛成する一方、 治安対策法案のような経済政策以外の施策については反対の立 場を取るというねじれ構造が行政府と立法府の間に横たわり、 これを打破することが政権にとっては引き続きの課題となる。

11月7日、最高裁が二審有罪判決後の収監を認めない旨の 決定を下したことにより、翌日、ルーラ元大統領が連邦警察ク リチバ支部から釈放された。これに伴い、労働者党(PT)をは じめとする左派政党が勢いを取り戻して国内の分極化がより一

層加速すると報じられたが、議会における左派のプレゼンスは 依然として低いと見られている。むしろ、連邦議会では非処罰 の慣習に対する抵抗感が高まり、同月中にも、7日の最高裁決 定を覆して二審有罪判決後の収監を認める旨の憲法修正案が議 会審議に入っている。

対外関係では、トランプ米政権を筆頭とする世界の右派政権 との関係構築が注目を集めた一方で、ブラジル外交特有の実利 主義的な側面も見られた。政権発足1年目は、政府の経済チー ムが主導する経済外交アジェンダがボルソナーロ外交を牽引し たとの分析もある。3月のボルソナーロ大統領の訪米では、ブ ラジルの OECD 加盟に対するトランプ政権の支持表明がハイ ライトされた。この直後にブラジルがWTO交渉における途上 国待遇(S&DT)の放棄を発表したことを踏まえると、ボルソナー 口政権は、途上国のリーダーを標榜した PT 政権とは対照的に、 先進国のステータスを目指す姿勢を示したとも言える。

昨年6月、EU メルコスール FTA 交渉が20 余年にわたる交 渉期間を経て大筋合意に至ったことは、市場開放を目指すボル ソナーロ政権にとっての大きな成果であり、ブラジルの経済界 からは特に高く評価されている。同 FTA の署名へ向け、昨年 発足したアルゼンチンの左派政権といかに協調できるかが注目 される。

中でも大きな関心を引いたのが中国との関係である。2018 年の大統領選挙戦で当時のボルソナーロ候補が中国警戒発言を 繰り返したことで、政権発足後に対中貿易が後退するのではと の懸念が経済界に浮上した。しかし、2019年10月のボルソナー ロ大統領の訪中と 11 月の第 11 回 BRICS 首脳会合のブラジリ ア開催をメルクマールとし、伯中両国は二国間経済を足がかり に良好な関係を取り戻したように見える。なお、ブラジルにお ける「一帯一路」構想の実施については、国内の枠組みである 投資連携プログラム(PPI)の利用を条件付けることで、政権 の政策的根幹にある国家主権の保護を担保する形となった。

2020年以降の大統領仟期は、連邦政府年間予算を含め、 2019年の間にボルソナーロ政権が自ら決定したことを実行で きる期間である。ボルソナーロ大統領の離党と新党結成、それ に伴う議会調整の困難さ、統一地方選挙による連邦議会運営の 停滞など、政治的正面における課題や障壁は山積みであるが、 1年目に着手した構造改革を継続していくことで、投資環境の 改善を通じて経済状況の回復が達成され、巡りめぐって政権支 持率の回復にもつながるのではないだろうか。在ブラジル大使 館の専門調査員としては、同国の新たな国内政治状況が経済と 外交に与える影響に着眼しつつ、引き続き情報収集に取り組ん でいきたい。

(本稿の内容はすべて筆者自身の観点に基づく私見であり、日本国政府あるいは大使 館の立場や見解などを示すものではありません。)

日 系 企 業 シリーズ 第 62 回

川崎汽船のブラジル事業



(川崎汽船ブラジル会社 社長

ブラジル現地法人の設立

当社のブラジル事業の歴史は、1976年5月にリオデ ジャネイロ駐在員事務所及び現地法人 Kawasaki Kisen do



Brasil Servico Marítimo Ltda. O 設立に始まる。ブラジルの経済伸 長に伴い、世界の資源国のひとつ である同国での情報収集が当初の 目的だった。其の後、ブラジルは BRICS の一員として今後、経済の 高度成長が期待される有望国と見 做され、当社も事業強化す るため

に 2007 年組織改編、コンテナ船及び自動車船の代理店を総 括管理する目的で現地法人"K"Line Brasil Ltda. を新たに 設立、サンパウロに本社、リオデジャネイロに支店を開設し た。現在は、川崎汽船の事業全般の出先機関としての役割も 担っている。日本人駐在は数名だが、初代から数えて今年で 18代目が勤務を開始している。事務所スタッフ数は傘下の 子会社含め総勢で約30名強とコンパクトな組織である。

当社のブラジルでの主な活動としては、コンテナ船部門が 邦船3社(当社、日本郵船、商船三井)の事業統合会社に譲 渡されたため、自動車船事業を中心としてドライバルク(ば ら積船) 事業やエネルギー資源輸送関連事業への営業・運航 支援業務となっている。

自動車船事業

自動車輸送は、1990年代の自動車メーカーの水平分業化 の進展に伴い、世界の自動車生産と物流の多元化が進む中で、 世界の様々な海域を縦横に掛け巡る時代へと変化した。ブラ ジルに関して言えば、斯様な変化への対応の一環として、大 西洋水域での三国間トレードの充実・強化を狙った当社は、 欧米系メーカーの輸送需要に応える形で南米東岸サービス網 の拡充を目指した。1993年に地中海/南米東岸航路のシャ トルサービスの開設を皮切りに、1996年にはメルコスール 域内のシャトルサービスを開設。イラン・イラク戦争後のイ ラクとの石油バーター取引きとして、ヨルダン南部のアカバ 港向けにピックアップ・トラックや機械などブラジル製品の 輸送にも従事した。2001年、地中海/南米東岸航路は休止 するも、新たに南北航路(南米東岸/メキシコ・米国東岸) を開始し、当社の自動車船サービス事業のグローバル・ネッ トワークの拡充に努めて来た。南米経済の浮き沈みは激し く、完成車輸送量も年によって大きく変化するため、適正な 船腹量の維持・調整が中々難しい。変動激しい輸送需要量に

見合う船型へのタイムリーな入替えや寄港スケジュール調整 等を通じ、極力サービスの質を落とさず荷主殿のご要望にお 応えする様、ローカル・パートナー関係者と一丸となって努 力している。また、自動車物流も今後伸ばして行き度い分野 で、海上輸送で培って来たダメージ・プリベンションなどの 知見を其の前後の陸上での物流で活かす事が出来る。新興国 での自動車販売増加で需要拡大も見込め、2017年にローカ ル・パートナーと共同でヤード・マネジメント会社 Nexus Gerenciamento de Patrios Ltda. を設立、海上輸送と組み 合わせたサービスの提供も可能となった。

ドライバルク事業

ドライバルク事業は、日本の製鉄会社・商社を始め、アジア・ 欧米顧客向けの鉄鉱石・穀物輸送が中心。極東から見ればブ ラジルは地球の裏側で足の長い海上輸送となり、特に鉄鉱石 輸送ではコスト低減のため船舶の大型化が求められる。通常 のケープサイズ (平均 15~16万トン船型)に加え、より スケールメリットを得るべく30万トン超クラスの船舶も建 造し顧客のニーズに適った専用船として配船もしている。当 社運航船のブラジル寄港数は、中小型船含め年平均 150 隻 前後で約2~3日に一度は何処かで当社船が荷役している勘 定となる。市況環境が厳しい中でも生き抜いて行くため、安 全運航確保は堅持しつつ運航効率の向上やコスト低減に向け て関係者の協力も得乍ら日々取り組んでいる。

エネルギー資源輸送関係事業

エネルギー資源輸送関連ビジネスでの当社のブラジルでの 歴史は比較的新しい。近年、近海のプレソルト(岩塩下層) で膨大な石油・天然ガスの埋蔵が確認され、海底油田に対す る大型投資が増えて来た。当社は2009年、ペトロブラス 社がリオデジャネイロ沖で開発中の大水深海底油田向けドリ ルシップ (洋上掘削船)事業に共同出資する形で参画、また、 2010年より本格的に単独で開始したオフショア支援船事業 では、沿岸域洋上に設置された石油生産プラットフォームや 掘削リグなどへの物資輸送などでペトロブラス社向けにサー ビス提供もして来た。今後の事業展開としては、エネルギー・ バリューチェーンで言う上流に位置付けられるドリルシップ や FPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) 等への

需要に、パート ナーと協業する形 で新規参画出来れ ばと思っている。



■12=

社内風景



.

ベンチャー投資家に聞く スタートアップ投資の実務



(TMI 総合法律事務所 日本法弁護士



中山 充 (株式会社ブラジル・ベン チャー・キャピタル代表)

1. ベンチャー投資の種類

本稿の前回記事 (本誌 2019年11月号 (1653号)参照) において、ブラジルのスタートアップ投資の状況やスター トアップ投資に関わる法制度などについて解説した。本稿 では、スタートアップ投資のより具体的な実務を知るため、 ブラジルで日本人唯一のベンチャー投資家であるブラジル ベンチャーキャピタル代表の中山充氏にお話を伺った。中 山氏は、2014年からブラジルのスタートアップ企業に投資 をしており、これまで、10 社以上のブラジル企業に投資を している。なお、スタートアップ投資は、企業が成長して いく過程に応じてしばしば各ステージに分けられ、一般的 には、シードステージ、アーリーステージ、ミドルステージ、 レイターステージなどと呼称される。スタートアップ投資 と一口に言っても、投資金額や投資方法は各ステージによっ て異なる。たとえば、起業準備段階であるシードステージ の会社への投資の場合、まだ具体的なビジネスが立ち上がっ ていない段階であるため、投資額も一般的に少なく、また、 投資の可否も単に創業者への信頼をもとに行われることも 多い。一方、投資金額が数十億から数百億円規模の投資に ついては、従来の M&A の手法と大きな違いはない。中山氏 は、この中で、アーリーステージ(創業直後から創業数年 程度)にある会社を投資対象とすることが多い。そのため、 以下で言及される中山氏の経験等も、アーリーステージの スタートアップへの投資を前提にしている。

2. 投資対象会社の見つけ方

最近の世界的なスタートアップブームの影響を受けて、日 系企業の中でも、ブラジルのスタートアップへの投資に関 心を持つ企業は多い。ただし、投資対象となるようなスター トアップに巡り合うのは容易ではないし、多くの日系企業 にとって、そもそもブラジルのスタートアップと接点を持 つこと自体が容易ではない。

この点に関して、中山氏は、投資対象となるスタートアッ プを見つける近道はなく、とにかく、多くのスタートアッ プやスタートアップに関わる人(投資ファンドなど)に会 うことが重要と話す。具体的には、スタートアップ関連の イベントがあれば参加し、また、コワーキングスペースで 人と話すこともある。そのような機会を増やすことで、紹 介などを通じてネットワークが広くなる。その際、重要な のは、単に「良いスタートアップを見つけたい」といった 抽象的な目的ではなく、自らの投資対象(投資金額、投資 対象セクターなど)を明確にしておくことである。そうし ないと、イベント等で人と会っても具体的な案件に発展す

ることは難しく(どのような人・企業を紹介すればよいか 相手方も分からない)、また、明確な目的なく表敬訪問など を繰り返すと、日系企業全体に対する評価が下がる恐れが あるためである。

3. 投資可否の判断

一般的な M&A においては、投資の是非及び可否は、投 資金額、自社との事業シナジーの有無、対象会社の成長性、 簿外債務の有無 (デューディリジェンスの結果) などによっ て判断される。一方、スタートアップ投資においては、スター トアップ投資の目的によって大きく異なる。中山氏のよう なベンチャーキャピタルの場合は、将来のキャピタルゲイ ンを目的としているため、対象会社の成長性が最も重要と なる。一方、事業会社の場合で、スタートアップが有する 技術等の自社事業での活用を目的とする場合には、自社事 業とのシナジーの有無も重要な要素となる。

デューディリジェンスの要否についても、スタートアッ プのステージや投資目的によって異なり得る。シードステー ジやアーリーステージの場合、事業計画でさえ作成してい ないこともあるし、管理部門の不足からデューディリジェ ンスに十分対応できないこともある。そのような場合は、 デューディリジェンスを実施しないことも選択肢としては あり得る。一方、投資の目的がスタートアップが保有する 特定の技術である場合においては、当該技術が開発された 経緯や特許化の有無・可能性などについては少なくとも確 認する必要がある。

中山氏の場合、過去の財務諸表の確認や会社・創業者・ 株主の信用調査(信用調査サービスを利用)は少なくとも 行っている。弁護士等の専門家にデューディリジェンスを 依頼するか否かは案件によるとのことである。

4. 投資の実行方法

本稿の前回記事で、ブラジルのスタートアップ投資にお いては、転換社債が利用されることが多いことについて言 及したが、中山氏も同様の意見であった。転換社債の株式 への転換については、ある事象(当該スタートアップの累 積調達額が一定金額を超えた場合など)が生じた場合に義 務的に転換される場合と転換の実行について投資家が権利 を持つ場合のいずれもある。株式に転換される場合、スター トアップを Sociedade Anônima (株式会社) に組織変更 した上で種類株式を発行することがよく行われる。より一 般的な法人形態である Sociedade Limitada の場合、種類 株式を発行できないためである。

RECOF(工業関連自動関税制度) の改正



(KPMG サンパウロ **車**終所 タックスダイレクター)

事務所 パートナー)

ブラジル国内に製造業を行う企業は多数存在するものの、ブラジ ルコストの負担が大きいなど、ブラジルを製造拠点として他国への 輸出販売をメインビジネスとする日系企業はそれほど多くないと言 える。

一方、政府は輸出を奨励しており、例えば、RECOF 制度やドロー バック制度といったものが存在する。さらに、2019年7月31日に 公布された規範指令1904号により、RECOF制度の適用がより容 易となっている。

ブラジル原産の製品であれば、メルコスール域内への輸出に対し、 関税が免税となることもあり、最近、日系企業のビジネス拡大の施 策として輸出に関しての相談を受けることもあり、今回は最近改正 された RECOF 制度について説明したい。

RECOFとは?

#111111111111111111

RECOF には、RECOF TRADITIONAL 及び RECOF-SPED が あり、どちらも輸出企業に対し、製造のための原材料購入にかかる 間接税の支払猶予(もしくは免税)といった以下のようなメリット がある。

メリットの一例

- ▶原材料の輸入に対する間接税(連邦税、州税(サンパウロ州及び リオ州のみ)) の支払いが猶予され、さらに輸出量について基準 を満たした場合には免税。
- ▶国内調達の原材料についても間接税の支払いが猶予され、輸出量 が基準を満たした場合には免税。
- ▶上述のように間接税の支払猶予されることからキャッシュフロー の改善が見込まれる。
- ▶当該制度を利用した原材料の一部について、国内販売することも 可能。その場合、支払い猶予されていた間接税について支払う必 要があるが、利息や罰金を支払う必要はない。
- ▶一旦、申請・承認を得れればそれを継続して利用出来る。(ドロー バック制度のように取引の都度に承認を得る必要はない)
- ▶商船更新追加税 (AFRMM) の軽減。
- ▶優先的な輸入品通関手続き。

RECOF 取得のための要件

規範指令 1904 号により取得要件が緩和され、現時点においては 純資産金額の要件は撤廃されており、また、最低年間輸出金額は 500,000 ドル (以前は5百万ドル) かつ輸入額の50%以上に相当す る金額となっている。

RECOF TRADITIONAL & RECOF-SPED の違い

規範指令1904号により両者の違いはほとんど無くなっているが、 少しの違いがある。

例えば、RECOF TRADITIONALでは、政府が指定するシステ

ム (RECOFSYS または ECOMEX RECOF) の利用が義務とされ ているが、RECOF-SPED はそのようなシステム利用の義務はない。 RECOF TRADITIONALの場合、ブラジル国税庁がいつでもそのデー タにアクセス出来る状況にある点については留意しておく必要があ

一方で、RECOF-SPED を適用する場合には会社規模に関わらず BLOCK K が要求する全データの提出が必要とされている。

なお、今回の改正により両者の差が殆どなくなったことから将来 は統一されるのではという噂もされている。

ドローバック制度(保留方式)との違い

その他の輸出を推奨する制度としてドローバック制度はよく知ら れているが、ドローバック制度と RECOF には、主に以下のような 違いがある。

1. 適用対象範囲

ドローバック制度及び RECOF 制度が対象とする工業工程は基 本的に同一であり、組み立て・加工・包装・修繕等が含まれる。 ただし、ドローバック制度には、工業工程以外にも畜産、鉄鉱石 採掘といった採取活動も含まれ、RECOF よりも適用対象範囲は 広い。

2. 優遇税制の範囲

どちらの制度も連邦税は対象となっているが、ドローバック制度 では、州税は対象外となっている。さらに、ドローバック制度に おいては、支払猶予されていた税金について支払う場合には、利 息、罰金も加算されることになる。

3. 規制当局

規制当局に関しても違いがあり、RECOF 制度はブラジル国税庁 のみによる管轄であるが、ドローバック制度は開発・商工貿易省 によって認可され、監督官庁はブラジル国税庁となっている。

4. 取得時期

RECOF 制度は一度認可を受ければ、その後は必要条件を満たし ている限りにおいて継続して適用される。一方、ドローバック制 度の場合、一定量の輸出のたびに認可を取得する必要がある。

2019年11月末現在において、RECOF TRADITIONAL の認可 を受けている企業数は29社、RECOF-SPEDは27社と少ないが、 認可を受ける資格のある企業は凡そ2,000社あると言われている。 2019年7月にRECOF取得要件が緩和され、また、ドローバック 制度よりもメリットが多いと考えられるため、今後取得する企業が 増えていくことも予想されている。

ブラジルでは、PIS/COFINS や ICMS といった間接税のクレジッ トが累積しその解消に多くの日系企業が苦労しているが、RECOF を適用出来る場合、輸入時の間接税の支払いが猶予(もしくは免税) されることから、RECOF 適用が累積したクレジットの解消手段の 1つとなる可能性もあると考えられる。輸出を行っている企業及び将 来輸出拡大を検討している企業においては当該制度の適用を検討す る価値はあると言えよう。

一年の実務を終えて



照屋エイジ

年は短い。年の瀬を迎えるたびに思っていることだが、今年は弁護士になって初年ということもあり、ことさら早く時間が過ぎていった。その「短い」一年の間にも、多くの出来事があった。ほんの少しとなるが、そのことについて述懐してみたい。

年。もらいたての弁護士徽章を胸にして、さまざまなアングルからポートレートを撮ることにも飽きてきた頃。

事務所からは最初に、交通事故にともなう保険金の支払請求、離婚、相続、破産、賃料の不払い等々、各方面の案件が割り振られた。そのほぼすべての案件がブラジル人に関わるものである。弊所は、国内では珍しく、ブラジル人の事件を手掛けているため、依頼者から事情を聴取する折など、ポルトガル語での対応が必須であった。

は、生まれこそブラジルであり、司法試験の後には 半年ほどブラジルでの研修を実施していた。しかし ながら、実際に依頼者の方々から生の声や悩みを聞き取る ことには、大変な苦労がともなったことを覚えている。

然のトラブルに巻き込まれたうえ、相手方などからはぞんざいな日本語で対応され、焦燥にかられるブラジル人は少なくなかった。母語でその胸中を明らかにできることもあって、彼らから聴取する時間は往々にして長大となった。

事件のなかで日本人の差別的な態度を感じ取った方々もいた。交通事故のような双方の過失が競合する場面においても、外国人であることを理由に事故現場で冷たい態度をとられ、非常に強い憤りを覚えた方々もいた。

私は、事故が原因となって日本人全体に対する嫌悪感が 依頼者のなかに残ってしまわないか不安になった。そのた め、時間はかかってしまうかもしれないが、できる限りお 話をうかがい、共感を示し、不満が少しでも解消されるよ うに尽力しようと決意した。

ものと寄り添うためには、言葉や文化について一層理解する必要があった。そんな折、事務所からブラジルへの出張が命じられた。期間は4か月。願ってもない機会であった。

出張先は、前回の研修と同じ法律事務所であった。前回

とは異なって、今度は専門家として所属することとなる。 同所の弁護士からは手加減のないポルトガル語が飛んでく るだろう、と覚悟を決めて海を渡った。

高まった不安の大部分は杞憂に終わった。先生方からは、 従前どおり懇切丁寧にブラジルの法制度や文化について教 示いただいた。ビジネスにおけるポルトガル語についても、 熱をもって指導いただいた。

初こそ、慣れないポルトガル語に悪戦苦闘していた リスが、少しずつ分かる表現や分野が増えていき、出張の中盤が過ぎたあたりからは、おおよその内容を掴めるようになった。これ幸いと、現地のレストランに足しげく通って店主らと世間話をしたり、大学の講義をいくつか聴講したりして、多方面でのポルトガル語能力を鍛えることもできた。その甲斐もあってか、2年前には十分に得心のいかなかった裁判所内での関係当事者のやり取りもずいぶんと得心がいくようになった。

日本での裁判手続も今一度おさらいした。これで、裁判 についても、依頼者にきちんと説明ができる。そうした気 持ちとともに日本へ帰国した。

けなり、以前よりもポルトガル語での意思疎通はぐっと楽になっていた。

もっとも、方針や裁判手続を正確に理解してもらうこと は思っていたほどには容易にならなかった。ブラジル人同 士のうわさ話やネット上の記載を信じ込み、頑として説明 を聞いていただけないこともあった。

日本語で相談できない環境で不安が高じてしまう気持ちは痛いほどよく分かったため、時には語気を強めながら、方針を丁寧に説明し、信頼関係を構築できるよう留意することとした。言葉を尽くすことの効用は大きく、次第に心を開いてくださった。

ていたという次第である。これからの一年、数年、数十年も、おそらくあっという間に過ぎていく。その間に出会うであろう多くのブラジル人にどれだけ寄り添い、悩みを解決できるのか。

ブラジル人弁護士の門を敲いた一年生。職責とバッジの重みに気の引き締まる思いがする。



ウーマン・アイ

ブラジルの子育て環境

15年前生後6か月の息子を連れ成田を経ちサンパウロへ再渡航した。初めての育児を異国の地で、という未知の経験を前にして心の中は120%不安に満ちていた。親戚も親友もいない、ポルトガル語も不十分、何とかなるか、いや何とかしなければと。そしてそれから15年経った今、一番子育てで大変な時期をブラジルで過ごせて本当に幸運だったと思う。

カトリック教徒が国の大半を占めるせいか、赤ちゃん、子供にはとても寛容だ。故に子育てをする母親に対しては周りは暖かい手を差し伸べてくれる。スーパー、空港入国審査、銀行等には子連れ、妊婦、高齢者優先の窓口がある。日本で見受ける赤子を連れた肩身の狭いお母さんの姿は何処にもなかった。子連れで街を歩けば何かしらみんな声を掛け、手伝ってくれる。

今も鮮明に覚えている、私が感激したエピソードがある。息子の乗ったベビーカーを乗せ横断歩道の前に立っていた。そこは信号もなく下り4車線の大通りで車がひっきりなしに走ってくる。「さて、困った。なかなか渡れないな。」と思っていた矢先、ブラジル人の中年男性が突然その横断歩道に飛び出し、「おまえら!赤ちゃん連れが渡れないだろ!とまれ!!」と烈火のごとく怒鳴り車を制止させた。そして「さあ、気をつけて渡りなさい。」と満面の笑みで誘導、母子無事に渡りきるという図を作ってくれた。見も知らない私に赤ちゃん連れというだけで。

「イクメン」にしても父親の育児は当たり前なので敢えてそんな言葉を使う必要もない。また、ベビーシッター制度も充実しているので、働く女性の「育児と仕事の板ばさみ」や「キャリヤの中断」といった状況も見受ける事が出来なかった。そのような状況を目にして、いつも羨ましく感じていた。

また、南米らしいおおらかな育児を目にする事もあった。日本では 1歳までの母乳育児は絶対、やれ離乳食、やれ食物アレルギーと過剰 な程に叫ばれる。そんな状況とは裏腹に太陽の日差し満ち溢れるサン パウロの夏、ブラジル人の赤ちゃんが哺乳瓶をしっかりと持って飴色 の液体を飲んでいる。

まさか、まさか、、。予感は的中、哺乳瓶の中はブラジルの国民飲料「ガラナ」。母親らしき女性に「赤ちゃんにガラナ飲ませて大丈夫?」と尋ねると「大丈夫!振って炭酸は抜いてるから。」とニコリ。思うところはあったが、これも南米らしさだろうと自分に言い聞かせていた。そんなおおらかなブラジルの現地幼稚園で4歳まで過ごした息子は、私と似ず細かい事は気にしない、おおらかな性格の男子へと成長した。

日本、ブラジルと育児に関してそれぞれ一長一短はあるであろう。 ただ少子化問題を抱える日本にとって太陽の国ブラジルの子育て環境 は、見習うべき点も多々あるのではないだろうかと外から日本をみて 感じるものがあった。

ジャーナリストの旅路

最高の眺めを写真に リオのカーニバル

浅原敬一郎(日本経済新聞社写真映像部次長)

寒い日本から脱出し、地球の反対側にある真夏のリオデジャネイロへ―。2014年にブラジルで開かれたサッカーのワールドカップをカメラマンとして取材する前、カーニバルの時期のリオを訪ねた。一番の目的は「世界最大の祭典」を写真に納めること。ポルトガル語も踊りも苦手で不安もあったが、意外なことに大阪府岸和田市のだんじり祭の取材経験に救われることになった。

リオ中心部にあるカーニバルの専用会場「サンボドロモ」は、全長約700メートルの大通りのような舞台だ。通りの両サイドには何万人分もの観客席がそびえる。リオ五輪ではマラソンのスタートとゴール地点にもなった。1チーム約4千人のサンバチームが踊ってパレードし、趣向を凝らした山車や衣装の出来栄えなどを競う。出場する精鋭12チームの最下位は翌年のカーニバルで降格するためか、華やかさのなかに緊張も伝わってきた。目を引いたのは、1人で踊りながら数百人の打楽器隊を堂々と先導する「打楽器隊の女王」。セクシーな衣装に身を包んだチームの花形ダンサーだ。

美しい女王を間近に撮影したいが、パレードの邪魔をして はならない。しかし、腰が引けすぎていては被写体に肉薄で きない。どのようにアプローチしたらよいものかと悩んでい ると、そろいのジャケット姿のスタッフが通りの端を踊るでもなく追従していることに気がついた。岸和田のだんじり祭では、先頭を歩く責任者にまず取材許可を得て、撮影場所について指示を受けるのが習わしだったことを思い出す。女王を指さし「近くで写真を撮らせてください」。たどたどしいポルトガル語でたずねると、現場慣れしていない外国人カメラマンは危なっかしいと思ったか、1人が専任でついてくれた。女王の動きを予測し、カメラが近づきすぎそうになると強く腕を引っ張てくれる。おかげで撮影OKの距離感をすぐつかむことができた。女王の華麗なステップを追いかけ、汗だくになりながらも最高のシャッターチャンスをものにできたと思う。

パレードの後半に差し掛かると、逆L字型の歩道橋のような建造物の上からカメラマンがレンズの放列を敷いていた。 上からの眺めは、巨大な山車やチーム全体の踊りの迫力を感じることができる素晴らしいものだった。いくつものサンバチームを撮影し終えたころ、観客席では酒を大いに楽しみながら歓喜の表情で踊る人たちの姿があった。夜が白み始めサンボドロモの外に出ても、あちこちでサンバのリズムが響く。リオの街全体がカーニバルの熱気を帯びていた。記憶に残る写真の旅となった。

16

演技派女優フェルナンダ・モンテネグロ ベストセラー回想録を読む

フェルナンダ・モンテネグロ、と聞いて「誰?」と問うブラ ジル人はいないだろう。半世紀以上にわたって演劇界、映 画界そしてテレビ界で活躍してきたベテラン女優であり、 その演技力は年齢を重ねる毎に円熟味を加え、彼女の"文化 発言力"は政治権力者たちからも一目置かれており(過去二 回も文化大臣就任を懇願されたがいずれも固辞した)、国際 的な知名度も高いからだ。

1929年生まれで、現在90歳になったフェルナンダ(本名: アルレッチ・ピニェイロ・ダ・シルバ)は、文筆家としても知ら れていたが、この度(2019年9月)自伝的回想録『プロローグ、 芝居、エピローグ、回想』を上梓し、大きな話題となっている。 メディアでも大きくとりあげられたこともあって、342 頁 もの分厚い著書だが、発刊されるや直ちにベストセラー入 りし、前号の本欄で紹介したL・ゴメスの歴史小説『奴隷制 (第1巻)』と売行き順位で上位を競っている(11月末現在)。

筆者も早速知人経由で本書を入手して読み始めたが、文体 が流暢であるうえに書かれているブラジル演劇史の"劇的" ファクトの面白さに惹かれてしまい、二日ほどで読了して しまった。そう、彼女はブラジル現代演劇史の生き証人な のだから、その語りに惹き込まれるのは当然なのだ。今回 はこの回想録について、私的紹介メモを重ねてみたい。

名画『セントラル・ステーション』



1998年2月、ベルリン映画祭でヴァ ルテル・サーレス監督の『セントラル・ ステーション』の上映が終了した時、 1500 名以上の観衆が全員 10 分以上 もスタンディングオベーションで感動 を表現したのは、まさに"歴史的事件" であった。リオのセントラル駅で孤児 となったジョズエ少年がノルデスチへ 父親捜しの旅に出かけるが、彼に付き 添ったのがフェルナンダの演じる元教 師の代筆屋ドーラ、というロードムー ビーは、世界中の観客の涙腺を刺激し、 同映画祭ではグランプリ金熊賞を受賞、

さらにフェルナンダは最優秀女優賞に輝いたことで国際的 にも知られることになった。翌 1999 年には日本でも一般 公開され、多くの観客を感動させたことは、記憶に新しい。

この回想録でも同映画についてのエピソードが 10 頁ほ ど書かれているが(例えば、ジョズエ役を好演したヴィニシ ウス少年は、サントス・ドゥモン空港で靴磨きをやってい たところをサーレス監督に"一本釣り"された、とか、20 年後の今でも街を歩いているとあの映画は素晴らしかった、 と話かけてくるリオ住民が少なくない、とか)、彼女にとっ

てもこの名画がエポックメイキ ング的な意味を有したからだ。

家族のルーツ

フェルナンダはリオ生まれであるが、父方のルーツはポル トガル、母方のルーツはイタリア(サルデーニャ島)である。「私 の父の家族はポルトガルの農民で、母のほうはサルデーニャ 島の羊飼い」、「ほとんど中世的な農民層の子孫が私だ」と記 す彼女は、ポルトガル系三世にしてイタリア系三世となる。

Prólogo, ato, epílogo

母方の曾祖父ファミリーが「ブラジルでは黄金が雨のよう に降り、土地を掘ればたちまちエメラルドが出てくるから数 年で故郷に錦を飾れる といった誇大宣伝に騙されたことも あるが、サルデーニャの貧しい生活に見切りをつけ移民船に 乗り込んだのは 1897 年であった。彼らはリオやミナスで イタリア移民として苦難の道を歩むことになるが、こうした ファミリー史を克明に述べるフェルナンダの筆致はノンフィ クションライターのようだ。また 1974 年初めて欧州を訪ね た際、サルデーニャ島の祖父母たちの出身村を訪ねたら、案 内してくれた少年がなんと遠い親戚にあたることがわかって 友情を温めた、とか、父親がコミットしていたリオのポルト ガル人コミュニティーの結束も強かったが、そうした欧州の ルーツがあるにせよ「私はカリオカ、徹頭徹尾ブラジル的な ブラジル人」と書き記している。この辺がブラジル人読者の 心を揺さぶる所以であろう。

1960~70年代、"冬の時代"

医学部を中退して演劇家となったフェルナンド・トーレス と結婚したフェルナンダは、劇団を結成して小劇場活動に邁 進、経済的には金欠病状態が続いたもののモリエール、シェー クスピア、チェーホフ、バーナード・ショーらのヨーロッパ 古典劇から、ネルソン・ロドリゲス、ミロー・フェルナンデ スといったブラジル現代劇作家の社会派劇まで演じていく。

だが、時代は軍政下。理不尽な検閲で自由な演劇活動は弾 圧され、セリフの全面切り替えなど日常茶飯事、脅迫電話は

数え切れないほどか かってくるし、1979 年にはサンパウロで 宿泊先にピストルの 弾が撃ち込まれたこ ともあった。

貴重な写真も多数 収録されており、文字 通り、ブラジル演劇 史の素敵な回想録だ。



最近のブラジル政治経済事情(外務省中南米局提供情報並びに現地メディア報道他より)

■世銀 Doing Business 最新報告書

10月25日付エスタード・デ・サンパウロ紙は、24日に公 表された世界銀行の報告書「Doing Business」について報 じている。概要以下の通り。

- 1. ビジネス環境を調査する「Doing Business」の順位にお いて、ブラジルは昨年の109位から124位へ後退。
- 2. 今年のダボス会議で、ボルソナーロ大統領は、2022 年末 までに50位以内に入ることを目標とすると述べていた。
- 3. コスタ経済省生産性・雇用・競争力担当次官は、「結果は ブラジルにとって全く良いものではない。調査結果は近年の ビジネス環境の悪化を反映しており、もし、今日、調査が行 われれば、ブラジルの順位は大きく上昇するであろう。」と述 べた。
- 4. 「コー次官は、税制改革がブラジルの順位上昇に貢献する ことを強調し、政府は現政権終了(2022年末)までに50位 以内に入ることの目標を維持するとした。
- 5. 同報告書は、10 の指標について評価しており、ブラジル はそのうち「建設許可の取得」、「知的財産権の登録」及び「起 業」の3つの指標で改善した。
- 6. ブラジルは, 中国 (31位), トルコ (33位), チリ (59位), メキシコ(60位)より下位である一方、アルゼンチン(126位)、 ベネズエラ (188位) より上位にある。

■スタートアップ支援イニシアチブ委員会の設立

11月25日、経済省はスタートアップ支援イニシアチブ委 員会を設立した。概要以下のとおり。

- 1. 伯政府は、政令(第10122号)によりスタートアップ支 援イニシアチブ委員会を設立した。目的は、革新的なスター トアップ企業向けの政府の取組を連携させることであり、11 月21日の官報で公布された。
- 2.全ての政府の支援活動を登録するデジタルプラットフォー ムが創設され、起業家は、そこにアクセスすることにより、 委員会メンバーの全ての団体及び組織がスタートアップを促 進するために実施している支援プログラムの情報を見つける
- 3. 「このイニシアチブは、二つの重要な政府の方針に沿って いる。第一に、政府がスタートアップに提供する全ての情報 を一力所で起業家に提示することによる簡素化。第二に、全 ての政府機関とスタートアッププログラムを連携させること による行政効率の改善」とカルロス・コスタ経済省生産力・ 雇用・競争力担当次官は述べた。
- 4. 本委員会は、経済省、科学技術革新通信省、科学技術開発 審議会(CNPa),企画·研究融資機関(FINEP),国立経済 社会開発銀行 (BNDES), ブラジル中央銀行, 農牧研究公社 (EMBRAPA), 産業開発庁 (ABDI), 輸出投資促進庁 (APEX) 及び零細・小企業事業支援サービス(SEBRAE)の代表で構 成される。

食品与→び母章

キャンパス・コラム

ブラジルとフェミニズム

青木優希子

ブラジル留学中には人生を変える多くの出会いに恵ま れた。素晴らしい人々との出会いだけでなく、文化や価 値観との出会いもあり、その一つにフェミニズムとの出 会いがあった。留学は"feminism"が「最も検索された 単語」に選ばれた2017年だったから、世界的にもフェ ミニズムが盛り上がりを見せていたころだった。しかし、 日本では、少なくとも私の感覚では、あまり知られてい なかったし、正しく理解されているとはいえなかった。 何しろ広辞苑の「フェミニズム」の語義の二つ目が、「俗に、 女に甘い男」だった時代のことだ。

世は女性にとって生きやすくはできていないし、男女 とも性別による困難があるのはおかしいとぼんやりと感 じてはいたものの、フェミニズムの思想を学んだことの なかった私にとって、フェミニストは「過激」で「考え すぎ」で、社会は「そういうもの」で、ジェンダー平等 社会は「建前上目指しておく理想論」だった。

だから、サンパウロ大学で、決して「過激」には見え ない人々が、男女問わずフェミニストを自称することに は驚いた。Coletivo Feminista (フェミニスト連帯) に入っ て勉強し始めて、男女が同等の権利をもつこと、男性も 女性もジェンダー規範から解放されること、誰もが生き

やすい社会をつくること…フェミニストが目指す社会は 当たり前のことが当たり前に守られ、人々が互いを尊重 する社会であることを知った。「叶うわけのない理想」か ら「実践」に意識が変わり、未来に希望を見出した。そ れまでのもやもやした思いが言語化された喜びと、同じ 思いを持つ人がいることを知った喜びがあった。

同時に、ブラジル社会が歴史的に育んできた、人権や市 民運動に対する意識の高さがブラジルのフェミニズムを 支えている印象も受けたし、ラテンアメリカのマチズモと 日本の男尊女卑は少し毛色が違うとも感じた。また、大都 市に暮らし、高い教育を受ける大学生が、いかに「選ばれ た」、ほんの一部の存在であるかということも思い知らさ れた。サンパウロ大学の Coletivo Feminista は、それを 自覚している大学生たちの社会への責任感と、一市民と しての連帯感を併せ持った活動で、とても刺激的だった。 彼らと夜を明かして議論した経験は、何にも代えがたい。

ともに発展を目指す日本とブラジル、フェミニズムに おいても連帯を期待したい。3月8日には国際女性デー (Dia Internacional da Mulher) が控えている。皆でパ ウリスタ通りを歩いたあの日を思い出しながら、日本で も盛り上げていきたい。

19

新刊書 紹介

◆◆◆◆◆◆ 新刊書紹介 ◆◆◆◆◆◆

『ジカ熱』

(デボラ・ジニス著、奥田若菜・田口陽子訳) サブタイトル「ブラジル北東部の女性 と医師の物語」が示す如く、先天性ジ カウイルス症候群という感染症のケー スが明らかにしたノルデスチにおける 経済的・社会的・ジェンダー的な格差 をフェミニスト人類学の視点から論じ たモノグラフだ。ブラジルでジカウイ ルスが特定されたのは2015年だが、 ノルデスチで集中的に発症した経緯や 原因を追究する著者は大学教員にして ドキュメンタリー映画作家。本書は優 れたノンフィクション作品でもある。 (水声社 2019年11月 247頁 3,000円+税)

『未来をつくる起業家 ブラジル編』 (中川充著)

スタートアップを立ち上げた時期は、 1990年代後半、2000年代、2010年代、 と広い世代にわたる起業家8名との長 いインタビューを集成した1冊。ブラ ジルは GDP 規模では世界第9位だが、 インターネットユーザー数では世界4 位の1.4億人、都市別の起業環境では サンパウロは世界 12 位である。この多 様なポテンシャリティーを有するブラ ジルで、既存の産業界がカバーできな いニーズを満たすのが「未来をつくる 起業家たち なのだ。

(クロスメディア・パブリッシング 2019年2月 192頁 1.958円+税)

『ワンダーランド ブラジル』 (田所清克・玉川裕子著)

京都外大名誉教授とコーヒー鑑定士歌 人の共著。ブラジルの五つの地域(北部、 北東部、南東部、南部、中西部)に関する 地誌的叙述が第1部で、第2部では、ブ ラジルコーヒー、大衆音楽、民衆の祭典、 国民食フェイジョアーダ、国民酒カシャ サ、言葉、再生可能エネルギー、日系ブ ラジル人、について語っている。本文 のあいだに短歌とコラムが挟み込まれ ており、"短歌で綴るブラジル物語"に仕 上がっているブラジル入門書といえる。 (角川書店 2019年10月 261頁 2,500円+税)

[Brasileiramente]

(ウィリー・ヲゥーパー著)

西荻窪にある「ブラジルの飛び地」

"Aparecida" の店主にして音楽評論家 の著者によるブラジル紀行エッセイ集 だ。ブラジル音楽に惹かれて34年、ブ ラジルに通うようになって 18年とい う著者は音楽界の有名人(ホベルト・ メネスカル、フェルナンダ・タカイ他) とも自然体で交流し、ゴイヤスでヴィ オーラ・カイピーラの生演奏に聞き入 り、サンパウロでイネジータ・バロー ゾの公開番組収録に立ち会う。肩肘張 らないブラジル文化論でもある。

(発行元: Aparecida 2019年10月 148頁

[Explode Coração] (新多正典写真集)

先住民、黒人奴隷、ポルトガル人といっ た複数の人種が混淆しているペルナン ブーコ州にはマラカトゥという伝統芸 能にして共同体文化運動がある。その 代表団体ナッサゥン・ド・マラカトゥ・ ポルト・ヒコの2018年カーニバルに おける「鉄と太鼓の轟音とともに、心が、 身体が、爆発する」パーフォーマンス を記録した貴重な写真集だ。州都レシー フェの海岸地区ピーナにおける"常民" の演劇パワーが写真からほとばしって くる、素敵な写真冊子だ。

(発行人:加藤宜正 2018年5月85頁 200部限定出版)

!!「ブラジルあれこれ」!!

アサイーの日(9月16日)

2019年9月12日、在京ブラジル大使館マナブ・マベ講堂 においてサボイア在京ブラジル大使臨席の下、「アサイーの日」 制定記念イベントが行われた。「アサイーの日」は、フルッタ フルッタ社からの申請を一般社団法人日本記念日協会が審査の 上認定したものである。筆者は、記念イベントの主催者である フルッタフルッタ社の依頼に基づき、本イベントの中でアマゾ ン日本人移住の歴史と日系社会の現状につき簡単な講演を行っ

アサイーの生産地であるパラー州では、アサイーの日を9月 5日に定めているが、同社広報によれば、日本での「アサイー の日」を申請するにあたり、日本における「アサイーの日」を 何日にするかをめぐり社内で大いに議論になったようだ。その 結果、2019年が日本人アマゾン移住90周年の節目の年にあ たることも勘案し、この間の日本人移住者の産業貢献には目を 見張るものがあり、その象徴ともいえるのが、トメアス一総合 農業協同組合(CAMTA)による日本へのアサイー輸出であり、 この機会に、ブラジル社会に対する日系社会の貢献を顕彰する 意味合いも含め、日本人移住者が 1929 年に初めてアマゾンの 地を踏んだ9月16日を「アサイーの日」とする申請を提出す るに至った由。

さらに同社では、日本記念日協会への申請に先立ち、在京ブ ラジル大使館の意見を求めたところ、大使館側は、この計画を 大いに多とし、イベントにはサボイア大使自らが出席され、祝 辞を述べられた。祝辞の中で、サボイア大使は、日本人ブラジ ル移住90周年を両国官民が祝賀する本年(2019年)9月に 日本において「アサイーの日」が制定される意義は大きい、日 本のマーケットにおけるアサイーのプレゼンスにはいまだ大き なものがあり、今後とも本件事業を通じる日伯経済交流がます ます発展するよう支援していきたいと述べるところがあった。

イベントには、ジャーナリスト、研究者に加え、同社株主を はじめアサイーのファン(アサイーストと呼んでいた)が、50 名ほど参加された。これらの方々はアサイーを通じ、ブラジル やアマゾンに対する高い関心を有しているように見受けられ、 筆者が持参した当協会の情報誌「ブラジル特報」2019年9月 号は、アマゾン日本人移住90周年特集を所収した号であった こともあり、20部がまたたく間になくなった。

イベントの第二部では、立食パーティーが行われ、本来現地 で食されているアサイーのイメージで、アサイーがそのまま容 器に入っているものや肉のアサイー添えなどデザート系ではな いアサイーの食べ方が披露されていたのが目を引いた。(MK)



日本ブラジル中央協会

– イベントのご案内&お知らせ ——

イベントのご案内

HP の申込みフォームからお申し込み下さい。 http://www.nipo-brasil.org



山田彰 駐ブラジル日本国大使 講演会 演 題:「最新のブラジル情勢について」

2019年2月25日(火) 15:00-16:30 (14:30受付開始)

田中田村町ビル8F 8 E会議室 港区新橋2-12-15 個人会員1,000円、法人会員 2,000円、非会員 3,000円

2019 年度 冬期ポルトガル語講座のご案内

https://nipo-brasil.org/portugal/

2020年1月から始まる冬期講座は、充実した講師陣により、下記日程にて開講いた

全くの初心者(16:30)コース 毎週 火曜日 16:30~18:30 (秋期講座からの継続) [全9回]1/14~3/17 講師:岸和田マリレーネ先生

初心者(19:00)コース 毎週火曜日 19:00 ~ 21:00 (秋期講座からの継続) [全9回]]/14~3/17 講師:岸和田マリレーネ先生

初級 | コース 毎调金曜日 19:00 ~ 21:00 (秋期講座からの継続) [全9回] 1/17~3/13 講師:岸和田マリレーネ先生

初級 | コース 毎週水曜日 19:00 ~ 21:00 講師:古庄マリア先生

(秋期講座からの継続) 「全9回1 1/22~3/18 中級コース 毎週月曜日 19:00 ~ 21:00

(ある程度会話が可能な方) [全8回] 1/20~3/16 講師:上運天ミゲル先生

上級(火曜)コース 毎週火曜日 19:00 ~ 21:00

(ポルトガル語だけで授業をします) [全9回] 1/14~3/17

上級(木曜)コース 毎週木曜日 19:00 ~ 21:00 (ポルトガル語だけで授業をします) [全9回]1/16~3/12

上級会話コース 隔週土曜日 11:00 ~ 13:00

(コーヒー等飲みながら自由会話) [全5回] 1/11~3/7 講師:三浦マリエ先生

受付はホームページからのお申込み後、受講料のお振込み順とさせて頂きますので、 お早めにお願い致します。

法人・個人・学生

皆様のご入会を心よりお待ちしております

会員数 法人会員 127社 (2019年12月現在)個人会員 約420名

当協会の活動目的「日本・ブラジル間の相互理解、友好関係の促進に寄与する」に ご賛同・ご支援頂ける法人・個人の皆様に、会員となることをご検討いただければ幸いです。

会員特典





協会会報「ブラジル特報」の受領 隔月発行、年6回配布。

2 会員価格にて、講演会等のイベント、ポルトガル語講座に 参加できます (会員限定イベントへも参加いただけます)

3. 会員交流懇親会へ参加いただけます

4. ホームページにて、会員限定情報をご覧いただけます

年会費

1口 20,000円 個人会員 1□ 10,000円

※入会金は不要です

お申し込み



《日本ブラジル中央協会公式HP》》

「ブラジル特報」は一部有名書店の店頭でも入手できます。



ジルソン・マルチンス 日本初上陸

ブラジル、リオデジャネイロの人気バッグブランド ジルソン・マルチンスが日本初上陸!

ジルソン・マルチンスの商品は直営店または ウェブショップにてお求めいただけます。





ウェブストアのご注文はこちらから! https://shop.coloridas.jp



COLOCÍDAS SHOP Aoyama

原宿ロイヤルビル 1F 2号室

営業日:火~土 13:00~19:00 (日·月曜 定休日)

ジルソン・マルチンス日本輸入総代理店 東京都渋谷区神宮前 3-42-11 ローザビアンカ 201

MAIL: bio@coloridas.jp TEL: 050-5585-1090 WEB: http://coloridas.jp

ブラジル赴任の前に ビジネスで使えるポルトガル語を



BrAsia(ブレイジア) 運営:株式会社 漢和塾 〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-12 楠本第17ビル5階 TEL03-6263-0716

E-mail:brasia@kanwajuku.com HP:http://brasia-j.com/



ブラジルへのご旅行・出張は 創業 1979 年のアルファインテルにお任せください。

アルファインテルは南米系旅行会社で唯一の国際航空運送協会 (IATA) 公認代理店です。 航空会社との直取引につき、料金、座席確保に自信があります。

主要取扱航空会社:ユナイテッド航空、デルタ航空、アメリカン航空、ルフトハンザドイツ航空、エールフランス航空、 イベリア航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、 アエロメヒコ航空、ラタム航空、ニュージーランド航空、アルゼンチン航空、ゴル航空、コパ航空、アヴィアンカ航空

アルファインテルはブラジル総領事館(東京、浜松、名古屋)の登録業者です。 観光や短期商用はもちろん、永住権取得や技術支援などの長期ビザもお任せください。

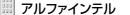
ご旅行・ご出張の際の現地のホテル、ガイド、車輛の手配も実績ある弊社にお任せください。

(本社) 東京都港区新橋3-8-6 大新ビル3階

株式会社アルファインテル 観光庁長官登録旅行業 第1835号 社団法人日本旅行業協会正会員/OTOA正会員

TEL: 03-5473-0541 FAX: 03-5473-0540















NIPPON STEEL

新日鉄住金は日本製鉄へと社名が変わりました。